

2024 年度
九州大学大学院総合理工学府
修士課程

学 生 募 集 要 項

学部 3 年次在学学生を対象とする特別選抜

2024年4月入学者選抜

- 出願する前に出願資格の事前審査（本募集要項の「2. 出願資格の事前審査」の項参照）を受ける必要がありますので、本募集要項の後部にある「事前審査申請書」の様式を印刷し、必要事項を漏れなく記入の上、他の必要書類とともに提出してください。

本特別選抜は、研究者及び高度専門職業人としての優れた資質を有し本学府修士課程に進学を志す者に早期から大学院教育への途を開く制度です。

1. 出願資格

2024年3月末日において大学に3年以上在学し、本学府が優れた成績をもって修得したと認められた者。

ただし、2024年3月に大学を卒業見込の者、既卒業者、外国における学校教育で16年の課程を修了した者はこの入学試験には出願できません。

2. 出願資格の事前審査

出願資格については次のとおり事前審査を行いますので、下記の書類を市販の封筒（大きさ：角形2号240mm×332mm）に封入の上、封筒表面に「修士課程・学部3年次在学学生を対象とする特別選抜 出願資格の事前審査書類在中」と朱書きして、「(2) 事前審査の受付期間」内に、「(3) 提出先」窓口への持参もしくは郵送により提出してください。関係書類を郵送により提出する場合は、書留郵便等の配達状況がわかる形での提出とし、受付期間内に必着するように発送してください。なお、原則として提出された書類は返却しません。

原則として、出願書類等を受領したことの連絡や受理しているかどうかの問い合わせには応じません。また、総合理工学府が不備があると判断した場合を除き、一度提出された各種書類の修正や再提出は受け付けません。

なお、事前審査要件は次のとおりです。

- ① 出願者の所属する大学において、優れた成績(出願時における通算のGPAが3.50(4.00満点基準)以上)を修得見込みであること。
- ② 3年次までに履修をしなければならない必修・選択必修科目等が規定されている場合は、これらの科目の単位すべてを修得見込みであること。
なお、3年次までに履修する旨の規定がない場合は、3年次までに開講された必修・選択必修科目等の単位をすべて修得見込みであること。

(1) 事前審査に必要な書類

- ① 事前審査申請書：本学府所定の様式に記入したもの
- ② 成績証明書：在籍大学が発行する成績証明書
- ③ 履修概要資料：在籍大学・学部・学科の履修要項等
- ④ 英語能力認定機関の発行した認定証（受験日が2022年2月13日以降のものに限る）：

下記(1)、(2)、(3)のいずれか1つを提出してください。

(1) TOEIC L&R 公式認定証 (Official Score Certificate) の原本

※ここでの「原本」とは、TOEIC運営事務局が発行・郵送したものを指します。

※公式認定証は、原則として本人の写真入りのものに限りません。

※出願時に公式認定証の提出が間に合わない者は、出願時に「TOEICを受験予定であることがわかるもの（TOEICの受験票の写し、TOEICマイページのスクリーンショット等。なお、いずれにおいてもTOEIC受験者の氏名や受験日等が明確に判別できる必要がある。）」を提出の上、入学試験当日に公式認定証の原本を持参してください。

※出願時より新しい公式認定証の原本を持参しても構いません。

※提出された公式認定証（原本）は返却しません。

(2) TOEIC L&R デジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) を印刷したもの

※デジタル公式認定証に記載されているQRコードが読み取れない場合、書類不備とする可能性があります。

※出願時にデジタル公式認定証の提出が間に合わない者は、出願時に「TOEICを受験予定であることがわかるもの（TOEICの受験票の写し、TOEICマイページのスクリーンショット等。なお、いずれにおいてもTOEIC受験者の氏名や受験日等が明確に判別できる必要がある。）」を提出の上、入学試験当日にデジタル公式認定証を印刷したものを持参してください。

※提出されたデジタル公式認定証を印刷したものは返却しません。

(3) TOEFL受験者用控スコア票 (Test Taker Score Report) の原本

※ここでの「原本」とは、TOEFL運営事務局が発行・郵送したものを指します。

※出願時に受験者用控スコア票の提出が間に合わない者は、出願時にTOEFLマイページにおいてTOEFL試験を申し込んでいることがわかる箇所のスクリーンショットを紙媒体で提出の上、入学試験当日に受験者用控スコア票の原本を持参してください。

※出願時より新しい受験者用控スコア票の原本を持参しても構いません。

※提出された受験者用控スコア票 (原本) は返却しません。

※何らかの事情により、TOEFL受験者用控スコア票の原本を提出できない場合は、TOEFL運営事務局へ公式スコア票 (Official Score Reports) の発行を依頼してください。その際に必要なコードは以下のとおりです。Institution code:0411

TOEIC・TOEFLともに、入学試験当日までに公式スコアを確認できない場合は、受験できないことがあります。

(2) 事前審査の受付期間

募集要項の公開時から2024年1月10日 (水) 17時まで (郵送の場合も受付期間内に必着するように発送してください。)

(3) 提出先

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地

九州大学筑紫地区事務部教務課教務係

電話 (092) 583-7512

※ 問い合わせ先メールアドレス: igsesadmissions@jimu.kyushu-u.ac.jp

※ 郵送の場合は必ず書留郵便として封筒表面に「総合理工学府 出願資格の事前審査書類」と朱書きしてください。

(4) 事前審査の結果

審査の結果は、2024年1月19日 (金) 17時までに申請者あてに通知しますので、資格があると認定された者は、4の出願手続きを行ってください。

3. 募集専攻及び募集人員

募 集 専 攻	募集人員	学府・専攻ホームページURL
総 合 理 工 学 専 攻	若干名	https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/

4. 出願手続

事前審査の結果、出願資格があると認定された者は、次の出願書類を市販の封筒 (大きさ: 角形2号 240mm×332mm) に封入の上、封筒表面に「修士課程・学部3年次在学学生を対象とする特別選抜 入学試験 願書在中」と朱書きして、「(2) 願書受付期間」内に、「(3) 提出先」窓口への持参もしくは郵送により提出してください。

出願書類等を郵送により提出する場合は、書留郵便等の配達状況がわかる形での提出とし、受付期間内に必着するように発送してください。なお、原則として提出された書類は返却しません。

原則として、出願書類等を受領したことの連絡や受理しているかどうかの問い合わせには応じません。また、総合理工学府が不備があると判断した場合を除き、一度提出された各種書類の修正や再提出は受け付けません。

(1) 出願書類

ア 願書: 本学府所定の様式に、志望研究室名及び履歴事項等を漏れなく記入してください。

イ 照合票・受験票: 本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入し、写真を貼ってください。

ウ 受験票返送用封筒: 長形3号封筒 (縦23.5cm×横12cm) に、郵便番号、宛先及び氏名を明記し、354円分 (速達料金を含む) の切手を貼ってください。

エ 入学検定料 (30,000円) :

入学検定料は、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、(a) コンビニエンスストア、又は(b) クレジットカードにより支払うこと。(海外からの支払いの場合は、(b)のみ。) 納付方法の詳細は、本要項の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。なお、支払いに関する手数料は、志願者が負担することとなる。

【支払い期間】

2024年1月22日 (月) ~1月25日 (金)

【入学検定料支払いに関する提出書類】

(a) コンビニエンスストアで支払う場合

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を綴込みの「『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙(様式4)」に貼付し、出願書類と共に提出すること。

(b) クレジットカードで支払う場合

「『申込内容照会結果画面』をプリントアウトしたもの」(A4サイズ)を出願書類と共に提出すること。

(注意)

e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」又は「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>)を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

(2) 願書受付期間

2024年1月22日 (月) から1月25日 (木) 17時まで (郵送の場合も同日の同時刻までに必着するように発送してください。)

(3) 提出先

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地

九州大学筑紫地区事務部教務課教務係

電話 (092) 583-7512

※問い合わせ先メールアドレス: igsesadmissions@jimu.kyushu-u.ac.jp

5. 選抜方法、試験期日及び試験場

(1) 入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査(筆記試験・口頭試問)の成績を総合して行います。

(2) 学力検査は、次の日程で行います。

試験日	内容	試験場
2024年2月13日(火) ~2月15日(木) のうち、いずれか一日 ※ 詳細は受験票発送時に通知。	筆記試験及び口頭試問	九州大学大学院 総合理工学府 (筑紫地区)

6. 試験科目

別掲のとおり

7. 合格者発表

2024年2月26日(月) 12時、筑紫地区事務部公報掲示板(共通管理棟玄関横)に掲示するとともに、合格者には文書により通知します。

8. 入学手続

(1) 手続期間: 2024年3月1日(金) ~3月8日(金) 17時まで(予定)

(2) 入学手続の際に納付する経費等

入学科：282,000円（予定）

※上記の納付金額は予定額であり、入学時に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※入学手続きの詳細は、合格通知書を送付する際にお知らせします。

9. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を随時受け付けています。受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、2023年11月30日（木）までに2の出願資格の事前審査(3)の提出先へ相談してください。

10. 注意事項

(1) 願書受理後は、記載事項の変更、入学検定料の払い戻しなどには一切応じません。

(2) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに筑紫地区事務部教務課教務係（筑紫地区共通管理棟）で再発行を受けてください。

(3) 入学試験に合格した後、入学手続き期間終了時まで、2の出願資格の事前審査の審査要件で定める授業科目又は単位を修得できない場合は、合格を取り消すこととします。

(4) この試験により、本学府修士課程に入学する者は、在学大学を退学する必要があるため、担当の学生係などへ事前に相談をしておいてください。

また、卒業ではなく退学となることから、学士の学位を取得することはできません。さらに、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業が要件になっているものについては、受験資格を認められない可能性があります。これらの要件を踏まえた上で、出願手続きを行ってください。

なお、学士の学位については、所定の要件を満たした後、大学改革支援・学位授与機構に申請することにより取得出来る可能性がありますが、詳細は当該機構へ問い合わせてください。

(5) 試験場への交通機関

・JR九州 鹿児島本線 大野城駅 下車 徒歩 約10分

・西鉄大牟田線 白木原駅 下車 徒歩 約20分

(6) その他出願に際して疑問、不明な点があれば、2の出願資格の事前審査(3)の提出先へ問い合わせてください。

11. 出願書類における個人情報の保護について

(1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。

② 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

(2) 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

(3) 個人情報の取扱いについては、あらかじめ以下のWebページを確認してください。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/disclosure/privacy/>

(試験科目)

類	試験科目	備考
<p>I類 (物質科学)</p>	<p>数 学*： [線形代数、微分方程式、微分積分学、ベクトル解析、複素関数] (各1題)</p> <p>専 門： [量子力学、固体物性学、化学熱力学、化学反応論、化学結合論、無機物質化学、分析化学、有機化学（主に構造、分析、反応機構など）、有機化学（主に反応、合成、物性など）、生化学、材料力学、金属組織学、金属強度学、高分子科学、化学工学、電磁気学、電気回路論（過渡現象を含む）] (各1題)</p>	<p>数学5題、専門科目17題の合計22題の中から4題を選択解答すること。ただし、数学は2題までしか選択解答することはできない。</p>
<p>II類 (エネルギー科学)</p>	<p>数 学*： [線形代数、微分方程式、微分積分学、ベクトル解析、複素関数] (各1題)</p> <p>専 門： [力学、熱・統計力学、量子力学、電磁気学、電気回路論（過渡現象を含む）、情報学、化学工学、工業熱力学、流体力学・水力学] (各1題)</p>	<p>数学5題中2題を選択解答すること。専門科目9題中2題を選択解答すること。</p>
<p>III類 (環境システム科学)</p>	<p>数 学*： [線形代数、微分方程式、微分積分学、ベクトル解析、複素関数] (各1題)</p> <p>専 門： [力学、材料力学、熱・統計力学、工業熱力学、流体力学・水力学] (各1題)</p>	<p>数学5題中の指定された2題(微分方程式と線形代数)を必ず選択解答すること。数学の指定問題以外の3題、専門科目5題の合計8題中から2題を選択解答すること。</p>

* 数学の試験問題は各類（I、IIおよびIII類）で共通である。

九州大学大学院総合理工学府概要

九州大学大学院総合理工学府では、「未来を見据えた物質・エネルギー・環境を融合した学問体系の構築とそれを身につけた人材の育成」を教育研究の目標としています。

昨今、情報化、グローバル化、少子高齢化、地球環境や経済活動の持続可能性などの社会問題の深刻化が進み、我々人類が未経験の課題が出現しています。こうしたパラダイムシフトに伴い、理工学分野の研究者・技術者に求められる役割も大きく変貌しています。総合理工学府は激変するこの社会環境に対応するため、大学院組織改革を断行し、情報科学を駆使しながら環境・エネルギー関連問題の解決を先導できる理工学系の研究・技術人材の育成に取り組みます。

総合理工学府総合理工学専攻は1学府1専攻体制です。修士課程入試は、Ⅰ類（物質系：材料、化学）、Ⅱ類（エネルギー系：電気電子、デバイス、量子理工）、Ⅲ類（環境系：機械、システム、地球環境）の三つの入試科目区分で実施します。入学後は、専門力を深めるとともに情報応用力、異分野展開力を強化するカリキュラムが準備されています。大学院博士課程修了時には、六つの専門領域（材料理工学メジャー、化学・物質理工学メジャー、デバイス理工学メジャー、プラズマ・量子理工学メジャー、機械・システム理工学メジャー、地球環境理工学メジャー）のうちいずれか一つを身につけると共に、講義・演習で学んだ異分野の理工学系および応用情報系の知識や技能を併せ持つ研究人材、高度専門技術人材を育成します。

なお、詳細については、総合理工学府ホームページ <<https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/>> を参照してください。

総合理工学専攻の系と研究室(教育分野)一覧

Laboratories and Academic Staff Members

※以下の表では、研究室の研究分野を分かりやすくするために、「系」というカテゴリーを導入しています。

研究室番号は、出願書類作成の際、希望研究室名とともに記入するためのものです。

※研究室番号に斜線のある研究室は、学生募集をしないことを示します。

Ⅰ類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category I

系 Section	研究室（教育分野）【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
電子・化学機能 Electronic and Chemical Properties	機能材料物性学【島ノ江・渡邊（賢）・末松】 Theory of Functional Materials【Shimanoe・Watanabe・Suematsu】	I-1
	熱・電子機能物性理工学【大瀧・末國】 Chemistry and Physics of Functional Materials【Ohtaki・Suekuni】	I-2
	機能無機材料工学【永長・北條】 Functional Inorganic Materials Chemistry【Einaga・Hojo】	I-3
	構造セラミックス材料学【－】 Structural Ceramics Materials Engineering【－】	
	無機ナノ構造解析学【－】 Design and Analysis of Ceramic Nanostructures【－】	
	新素材開発工学【山田・上原】 Development of Advanced Materials【Yamada・Uehara】	I-6
バルク機能 Bulk Properties	構造材料物性学【中島・光原】 Structural Materials Science【Nakashima・Mitsuhara】	I-7
	結晶物性工学【板倉】 Crystal Physics and Engineering【Itakura】	I-8
	量子材料物性学【波多】 Electron Microscopy for Materials【Hata】	I-9

	極限材料工学【橋爪】 Materials Science and Engineering under Extreme Conditions 【Hashizume】	I-10
	材料構造制御学【飯久保・嶋田】 Materials Structure Design【Ikubo・Shimada】	I-11
	プロセス設計工学【寒川】 Process Design Engineering【Kangawa】	I-12
	高エネルギー極限物性学【－】 Extreme State Science for Nuclear Materials【－】	
	プラズマ材料学【徳永】 Plasma Materials Science【Tokunaga】	I-14
	機能物性評価学【大橋・原・坂口（勲）】 Characterization of Material Structure and Properties 【Ohashi・Hara・Sakaguchi】	I-15
表面・界面・材料 デバイス Surface, Interface and Device Properties	表面物質学【中川】 Surface Science【Nakagawa】	I-16
	計算材料科学【辻】 Computational Materials Science【Tsuji】	I-17
	先端機能材料【藤野】 Advanced Functional Materials【Fujino】	I-18
	先進ナノマテリアル科学【吾郷】 Advanced Nanomaterials Science【Ago】	I-19
	KOINEプロジェクト部門【原田（裕）】 KOINE Project Division【Harada】	
	化学反応工学【林（潤）・工藤】 Chemical Reaction Engineering【Hayashi・Kudo】	I-21
	ナノ材料・デバイス科学【斉藤（光）】 Nanomaterial and Nanodevice Science【Saito】	I-22
	ナノマテリアル国際ラボ【柳田・村山・Ho・Yip】 International Laboratory for Nanomaterials 【Yanagita・Murayama・Ho・Yip】	
分子物性科学 Molecular and Materials Science	量子化学【－】 Quantum Chemistry【－】	
	分子計測学【原田（明）】 Molecular Spectroscopy【Harata】	I-25
	分子科学【古屋】 Molecular Science【Furuya】	I-26
	生体分子機能化学【村田】 Biomolecular function chemistry【Murata】	I-27
有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	分子・反応設計化学【友岡】 Development of Novel Organic Molecules and Reactions【Tomooka】	I-28
	生命有機化学【新藤・狩野】 Organic Chemistry for Life Science【Shindo・Kano】	I-29
	機能有機化学【國信・森】 Design of Advanced Organic Compounds【Kuninobu・Mori】	I-30
分子材料・プロセス 工学 Molecular Materials and Process Engineering	材料電気化学【栄部・アルブレヒト】 Materials Science for Electrochemistry【Sakaebe・Albrecht】	I-31
	機能分子工学【菊池・奥村】 Molecular Engineering of Functional Materials【Kikuchi・Okumura】	I-32
	高分子材料物性学【横山・リュウ】 Advanced Polymer Science and Technology【Yokoyama・Lu】	I-33

	高分子化学【スプリング】 Polymer Chemistry【Spring】	I-34
	素子材料科学【尹・宮脇】 Device Materials Science【Yoon・Miyawaki】	I-35
	機能有機材料化学【藤田】 Functional Organic Materials Chemistry【Fujita】	I-36

*研究室番号に斜線のある研究室は募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.

Ⅱ類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category II

系 Section	研究室（教育分野）【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
デバイスシステム Device Systems	電離反応工学【山形・堤井】 Ionized Gas Dynamics【Yamagata・Teii】	II-1
	光エレクトロニクス【浜本】 Opto-Electronics【Hamamoto】	II-2
	電子物性デバイス工学【吉武】 Electronic Physical Device Engineering【Yoshitake】	II-3
	非線形物性学【坂口（英）・森野】 Nonlinear Physics【Sakaguchi・Morino】	II-4
	機能デバイス工学【王・山本（圭）】 Functional Device Engineering【Wang・Yamamoto】	II-5
	電子システム工学【服部】 Electronic System Engineering【Hattori】	II-6
	パワーデバイス工学【齋藤（渉）】 Power Device Engineering【Saito】	II-7
	電力変換システム工学【西澤】 Energy Electrical Engineering【Nishizawa】	II-8
応用プラズマ・量子 Plasma Application and Quantum Engineering	プラズマ応用理工学【林（信）】 Plasma Science and Engineering【Hayashi】	II-9
	先進宇宙ロケット工学【山本（直）・森田】 Advanced Space Propulsion Engineering【Yamamoto・Morita】	II-10
	粒子線物理工学【渡辺（幸）】【金】 Nuclear and Radiation Engineering Physics【Watanabe】【Kin】	II-11
	エネルギー化学工学【片山】 Energy Chemical Engineering【Katayama】	II-12
	量子ビーム理工学【榭】 Applied Quantum Beam Engineering【Sakaki】	II-13
核融合プラズマ Fusion Plasma	核融合プラズマ物性理工学【井戸】 Fusion Plasma Physics and Engineering【Ido】	II-14
	核融合システム理工学【花田】 Fusion Plasma Science and Technology【Hanada】	II-15
	先進プラズマ理工学【出射・池添】 Advanced Plasma Science and Engineering【Idei・Ikezo】	II-16
	先進核融合情報制御理工学【長谷川】 Advanced Fusion Information Control Engineering【Hasegawa】	II-17
	プラズマ科学【田中】 Fusion Science【Tanaka】	II-18
基礎プラズマ Fundamentals of Plasma	核融合プラズマ理工学【藤澤・永島】 Plasma and Fusion Physical Science【Fujisawa・Nagashima】	II-19
	非平衡プラズマ力学【文】 Non-Equilibrium Plasma Dynamics【Moon】	II-20

	プラズマ非線形現象理工学【山田】 Nonlinear Plasma Science【Yamada】	II-21
プラズマ理論・シミュレーション Theory and Simulation for Plasma	シミュレーションプラズマ物理学【糟谷】 Plasma Simulation Physics【Kasuya】	II-22
	理論プラズマ物理学【小菅】 Theoretical Plasma Physics【Kosuga】	II-23
	原子・分子・光科学【加藤】 Atomic Molecular Optical Science【Kato】	II-24

*研究室番号に斜線のある研究室は募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.

Ⅲ類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category III

系 Section	研究室（教育分野）【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
エネルギー環境学 Energy and Environment	エネルギー流体科学【－】 High-speed Gas Dynamics【－】	/
	エネルギー熱物理解科学【渡邊（裕）】 Thermal Science and Energy【Watanabe】	III-2
	熱エネルギー変換システム学【宮崎・チョートウ】 Thermal Energy Conservation Systems【Miyazaki・Kyaw Thu】	III-3
	エネルギー移動現象学【池谷】 Heat Transfer Engineering【Ikegaya】	III-4
	熱機関工学【－】 Engine and Combustion【－】	/
社会空間環境学 Social Space and Environment	都市環境科学【萩島】 Urban Environmental Sciences【Hagishima】	III-6
	複雑系社会環境科学【谷本】 Complex Social and Environmental Systems【Tanimoto】	III-7
	建築環境工学【伊藤】 Architectural Environmental Engineering【Ito】	III-8
	環境エネルギーシステム学【ファルザネ】 Energy and Environmental Systems【Farzaneh】	III-9
再生可能エネルギー工学 Renewable Energy Engineering	生体エネルギー工学【東藤】 Bioenergy Engineering【Todo】	III-10
	海洋環境エネルギー工学【胡・朱】 Marine Environment and Energy Engineering【Hu・Zhu】	III-11
	風力エネルギー工学【吉田】 Wind Energy Engineering【Yoshida】	III-12
	風工学【内田】 Wind Engineering【Uchida】	III-13
流体環境学 Fluid Environment	宇宙流体環境学【松清】 Space Environmental Fluid Dynamics【Matsukiyo】	III-14
	環境流体システム学【杉原】 Environmental Hydrodynamics【Sugihara】	III-15
	水環境工学【エルジャマル】 Water and Environmental Engineering【Eljamal】	III-16
大気環境学 Atmospheric Environment	大気物理【岡本・山本（勝）・佐藤】 Atmospheric Physics【Okamoto・Yamamoto・Sato】	III-17
	気候変動科学【竹村・江口】 Climate Change Science【Takemura・Eguchi】	III-18

	大気環境モデリング【弓本】 Atmospheric Environment Modeling【Yumimoto】	III-19
	非線形力学【－】 Nonlinear Dynamics【－】	\
海洋環境学 Ocean Environment	海洋環境物理【時長・市川】 Descriptive Marine Physics【Tokinaga・Ichikawa】	III-21
	海洋工学【－】 Ocean Engineering【－】	\
	海洋循環力学【千手・遠藤】 Ocean Circulation Dynamics【Senjyu・Endoh】	III-23
	海洋力学【磯辺・木田】 Ocean Dynamics【Isobe・Kida】	III-24
	海洋モデリング【広瀬】 Ocean Modeling【Hirose】	III-25

*研究室番号に斜線のある研究室は募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.